

令和元年11月20日

建設緑政局関係議案資料 (その6)

議案第185号

川崎市緑化センターの指定管理者の指定について

建設緑政局

議案第185号参考資料

1 管理を行わせる公の施設の概要

| | |
|--------------|--|
| (1) 名称 | 川崎市緑化センター |
| (2) 所在地 | 川崎市多摩区宿河原6丁目14番1号 |
| (3) 設置条例 | 川崎市緑化センター条例 |
| (4) 設置目的 | 都市緑化を推進することにより、良好な都市環境の形成を図り、もって市民の健康で快適な生活の確保に寄与することを目的とする。 |
| (5) 施設の事業内容 | <p>1 運營業務</p> <p>ア 都市緑化に係る相談、指導及び広報活動</p> <p>イ 樹木、草花及び種苗の配布及びあっせん</p> <p>ウ その他、設置目的の達成に必要な業務</p> <p>2 その他業務</p> <p>ア 事業計画書及び収支計画書の提出</p> <p>イ モニタリングの実施</p> <p>ウ 事業報告書等の作成・提出</p> <p>エ 自己評価の実施</p> <p>オ 帳簿書類等の提出</p> <p>カ 各種資料の作成</p> <p>キ 市が実施する業務への協力</p> <p>ク 関係機関との連絡調整業務</p> <p>ケ 業務に関わる研修等への参加</p> <p>コ 近隣地域・利用者からの要望への対応</p> <p>サ 文書等の管理・保存</p> <p>シ 引継ぎ業務</p> <p>ス 備品等の管理</p> <p>セ 情報公開への対応及び個人情報などの業務上知り得た情報や秘密の保持</p> <p>ソ その他前各号に付随する業務</p> |
| (6) 現在の管理者 | 株式会社 石勝エクステリア |
| (7) 現在の管理運営費 | 43,289千円 |

2 指定管理者となる団体の概要

| | |
|---------|--|
| 名 称 | 株式会社 石勝エクステリア |
| 所 在 地 | 東京都世田谷区玉川2丁目2番1号 |
| 代 表 者 名 | 代表取締役社長 細井 俊宏 |
| 設 立 年 月 | 昭和47年1月20日 |
| 資 本 の 額 | 1億円 |
| 従 業 員 数 | 197人 |
| 設 立 目 的 | <p>次の事業を営むことを目的とする。</p> <p>(1) 環境整備に伴う造園、土木、建築の設計ならびに監理</p> <p>(2) 造園施工および管理</p> <p>(3) 土木施工および管理</p> <p>(4) 建築施工および管理</p> <p>(5) 宅地、観光、レジャー等の地域開発に関する計画、設計およびコン</p> |

| | |
|------------------|--|
| | <p>サルテイング</p> <p>(6) 植生、土壌、水質、景観等の環境調査</p> <p>(7) 前記二号に関する調査結果、計画等の編集受託</p> <p>(8) 造園に付帯した商品の販売</p> <p>(9) 不動産の売買および仲介あっせん</p> <p>(10) 浄化槽設備の企画、設計、製造、販売、施工および管理</p> <p>(11) 前各号に付帯する一切の業務</p> |
| 事業概要 (平成30年度) | <p>(1) 都市公園植栽維持管理</p> <p>(2) 都市公園運動施設管理</p> <p>(3) 大型団地内の公園維持管理</p> <p>(4) 都市公園市民農園運営</p> <p>(5) 都市公園都市緑化植物園管理運営</p> |
| 決算 (平成30年度) | <p>総収入 12,961百万円</p> <p>総支出 12,448百万円</p> <p>当期損益 513百万円</p> |

3 指定期間

令和2年4月1日から令和7年3月31日まで

4 選定結果

別紙のとおり

5 事業計画

| 項目 | 事業内容 |
|-----------------------|--|
| 1 平等な利用の確保、管理体制 | <ul style="list-style-type: none"> ・「公平・公正・平等」に照らし合わせて、特定の利用者に偏らないよう運営事業を実施 ・必要に応じてルールを掲示し、利用者と管理者の利用環境の共有化を図る ・責任者には経験豊富な社員を配置し、配置要員は能力のある社員の他、近隣地域から積極的に雇用 ・様々な研修により、継続的かつ体系的な人材育成 |
| 2 都市緑化推進、サービス向上策、自主事業 | <ul style="list-style-type: none"> ・相談を待つ運営に加え、緑ある暮らしを提案していく相談員を配置し、緑の相談所機能の充実を図る ・植物関連書籍を閲覧できる図書コーナーの環境を改善し、利用者が気軽に利用できるスペースを設ける ・市内施設における出張展示会を実施 ・花による新たな景観創出(フラワーロード、ローズガーデン) ・夏限定の早朝開園及び西園の月曜日開放 ・公式ホームページのウェブアクセシビリティの向上 ・アプリや情報誌を活用し、イベント情報や施設の魅力を発信 ・樹木・草花等販売、自動販売機事業の実施 ・自主企画による講座・展示事業の実施 ・仮設販売所を設置し地域(地元の農家、商店街等)と連携した販売事業の実施 |

| | |
|-------------------|--|
| 3 地域や周辺施設等との連携・協働 | <ul style="list-style-type: none"> ・地域で活躍する団体（ニヶ領せせらぎ館等）との事業連携 ・地域の市民団体と連携した「緑化センターまつり（緑化フェア）の開催 ・ボランティア団体などの窓口となるパークコーディネーターを配置し、各団体活動と運営事業の連携 ・パークプロデューサーが維持管理を担えるボランティア団体を調整し、ボランティアを参加型から協働型へと移行 |
| 4 維持管理 | <ul style="list-style-type: none"> ・セルフモニタリングによる施設点検の強化及び長期保全計画の作成 ・老朽化している施設に対応した修繕更新及び有効活用 ・特殊洗浄、クリーニングによる快適な施設環境の維持 ・有資格者による樹木診断及び台帳整備による管理の最適化 ・維持管理水準を上回る管理の実施（展示植物の再整備、芝生広場の質の向上、仕立樹木見本園の再生等） |

6 収支計画

(単位：千円)

| 項 目 | 金額（消費税及び地方消費税を含む。） | | | | | |
|------------|--------------------|---------------|---------------|---------------|---------------|----------------|
| | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 合 計 |
| 収 入 | 48,400 | 46,660 | 46,660 | 46,660 | 46,660 | 235,040 |
| ①指定管理経費 | 46,140 | 44,400 | 44,400 | 44,400 | 44,400 | 223,740 |
| ②自主事業 | 2,260 | 2,260 | 2,260 | 2,260 | 2,260 | 11,300 |
| 支 出 | 48,200 | 46,460 | 46,460 | 46,460 | 46,460 | 234,040 |
| ③維持管理経費 | 46,140 | 44,400 | 44,400 | 44,400 | 44,400 | 223,740 |
| ④自主事業 | 2,060 | 2,060 | 2,060 | 2,060 | 2,060 | 10,300 |

別紙

川崎市緑化センターの指定管理予定者の選定結果について

1 応募状況

説明会参加：3団体

応募団体：2団体（株式会社石勝エクステリア、公益財団法人川崎市公園緑地協会）

2 指定管理者選定評価委員会委員

金子 忠一（東京農業大学教授）

蒲池 孝一（公認会計士）

原島 弘（多摩区観光協会顧問）

佐谷 和江（計画技術研究所代表取締役）

仁科 亮（中小企業診断士）

3 選定理由

令和元年10月1日に開催した建設緑政局指定管理者選定評価委員会における審議の結果、「株式会社石勝エクステリア」については、十分な管理能力や他の指定管理施設の管理実績を有しており、施設の安全性や快適性の向上、維持管理コスト等の縮減を意識しながら、効率的・効果的な維持管理運営が期待できることから、川崎市緑化センターの指定管理予定者として選定した。

4 審査結果（※基準点525点以上）

| 選定基準 | 配点 | 指定管理予定者 | 公益財団法人 川崎市公園緑地協会 |
|----------------------|------|---------|---------------------|
| ①事業目的の達成とサービスの向上への取組 | 450点 | 332点 | 304点 |
| ②事業経営計画と管理経費縮減等への取組 | 150点 | 102点 | 94点 |
| ③事業の安定性・継続性の確保への取組 | 100点 | 69点 | 68点 |
| ④応募団体自身についての評価 | 125点 | 95点 | 95点 |
| ⑤応募団体の取組 | 50点 | 32点 | 34点 |
| 実績評価点（標準を0点として、加減点） | | 32.8点 | |
| 合計 | 875点 | 662.8点 | 595点 |

5 提案額

46,140千円（令和2年度）

44,400千円（令和3年度）

44,400千円（令和4年度）

44,400千円（令和5年度）

44,400千円（令和6年度）